

## 会議録様式

|           |                                                       |
|-----------|-------------------------------------------------------|
| 審 議 会 名   | 令和5年度 第4回杉戸町新庁舎整備審議会                                  |
| 開 催 日 時   | 令和5年4月28日(金)<br>午後2時30分から午後 5 時 00分まで                 |
| 開 催 場 所   | 杉戸町役場 第一庁舎3階会議室                                       |
| 会 議 の 議 題 | (1)基本理念及び基本方針(案)について<br>(2)導入機能(案)について                |
| 公開・非公開の別  | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開 (傍聴者数4人) |
| 出席委員氏名    | 石原 和夫、岩本 明美、佐々木 誠、藏田 幸三、<br>井上 裕文、木村 三樹男、青木 一子        |

### ■審議の概要

#### 1.開会

#### 2.報告事項

##### (1)第3回会議における確認事項について

- ・「第3回審議会意見回答書」の読み上げ。(事務局)
- ・敷地の整形化については、50 年後・100 年後を考え整形化により利用価値が上がるという事を踏まえ、何かアクションをした上で可否の判断をすべき。また、意見書の発言者はナンバー付ではなく、実名で記載すべきではないか。意見書はどの立場での回答か。敷地の整形化については時間的に切迫している訳ではないはずなので、時間を掛けて良く考えて欲しい。(石原委員)
- 意見書は事務局にて作成している。ご意見頂いた通り、新庁舎が完成するまでには時間が有るため、整形化の可能性について探って行きたいと考える。(事務局)

##### (2)町民ワークショップの実施について

- ・参加者は 25 名。5 グループに分け「現庁舎の課題」について議論して頂いた。(事務局)
- ・30分程度庁内ツアーをした上でグループワークを実施し、その後グループ毎に発表が行われた。発表において共通して多かった意見は「庁舎内が狭い、課の位置が分かりにくい、エレベーターが 1 つしかなく不便、雰囲気暗い、敷地入口が分かりにくい等...」。各班で特徴的だった意見は「プライバシー確保ができていない、議場は議会中のみの利用でもったいない、待合椅子が少ない、トイレが古くて汚い、職員が自席で昼食を取っている等...」。(桂設計)

- ・ワークショップの結果は、今後の議論に活かせるよう整理すること。(佐々木会長)
- ・高校生が参加したことによる効果は有ったか。(青木委員)
- 幅広い年代がお互いの意見を聞きながら議論ができた事は意義が有ったと考える。次回の役場機能に関する議論では高校生らしいアイデアを期待している。(事務局)

### 3.議事

#### (1)基本理念及び基本方針(案)について

- ・元々基本理念は3本柱としていたが、第3回審議会において基本理念は複数の基本方針を集約した一つの文にしてはどうかという意見が有った。そのため、基本理念については大きな方向性を示すキャッチフレーズとして1つ設定することとした。まずは基本方針の内容を明確にしたのち、基本理念の内容を審議して頂きたい。(事務局)
- ・本日はまずは基本方針について議論し、その後基本理念についてグループワークを実施する。(佐々木会長)
- ・基本理念案に有る「ウェルビーイング」は基本方針案のどの部分に対応しているか。(青木委員)
- 「誰もが利用しやすく、働きやすい」に対応している。(事務局)

#### ○基本方針について

- ・建設コストの高騰等に伴う新庁舎の実現性を考慮し、基本方針に「建設・維持管理コストを抑えたコンパクトな庁舎」が追加されている。コスト抑制を念頭に置き民間資金の活用や DX 等の工夫ができるのではないか。(佐々木会長)
- ・基本方針で重複している文章が有るため整理が必要。また、基本方針の並び順に意図は有るのか。(藏田委員)
- 重複する文章については整理する。並び順について優先順位が有ればご意見を頂きたい。(事務局)
- ・基本方針は 3 グループに分けられると考える。ウェルビーイングの観点から「杉戸らしさ・・・」、「誰もが利用しやすく・・・」、「町民の安心・・・」のグループ、「自然環境・・・」のグループ、「社会環境・・・」のグループ。ウェルビーイングのグループが最も重要で、自然環境、社会環境の順が良いと考える。(藏田委員)
- ・その時々、その人々によって重みは違ってくるので、優先順位付けをしない方が良いと考える。(青木委員)
- ・優先順位付けは不要と考える。基本方針の内容は特に違和感が無い。(石原委員)

- ・基本方針の内容は特に違和感ないが、実現できなくては元も子もないので建設コストについては特に重要だと考える。(佐々木会長)
- ・安心・安全等はどの庁舎でも当たり前のことなので、スローガンとして「杉戸らしさ」の優先順位が高いと考える。(岩本委員)
- ・前回の意見書にも書いたが「杉戸らしさ」や賑わいの実現のためには、「道の駅に建つ庁舎」といったインパクトのあるものが必要だと考える。(石原委員)
- ・杉戸町の伝統・文化財の保存のための部屋が必要だと考える。(青木委員)
- ・基本方針については重複や順番を整理した案を作成し、次回の審議会に提示する。(佐々木会長)

#### ○基本理念について(グループワーク)

- ・基本方針に基づき各グループ1つ基本理念を作って頂きたい。(佐々木会長)

#### 【1 班発表】(石原委員)

- ・(案 1、2)の「50 年後」の後に「100 年後」を追加すべき。
- ・(案 3)「ウェルビーイング」の認知度が低いため誰でも分かる表現にすべき。
- ・(案 2)の『環境』『文化』は「杉戸らしさ」に置き換えられるのではないか。
- ・将来的に町民の笑顔が見られるような庁舎にしたい。

#### 【2 班発表】(井上委員)

- ・(案 5)をベースに検討し、『みんなが集い、自然を生かし、社会環境の変化に柔軟に対応できる庁舎 ～みんなの笑顔を未来につなぐために～』を提案する。
- ・農にはこだわらず、川や緑を強調してはどうかという意見があった。
- ・(案 2)の副題に「未来につなぐ」を追加した。

#### 【まとめ】(佐々木会長)

- ・共通で出てきたキーワードは「みんな、町民、自分」、「杉戸らしさ(環境、文化、自然、農、宿場)」、「変化(50 年・100 年、社会環境の変化、柔軟に変化)」、「+α(親しまれる、笑顔、幸せ、安心・安全、コスト)」
- ・以上をまとめると「みんなが集い」、「柔軟に変化」、「笑顔」、「杉戸らしさ」というキーワードが出てくる。
- ・時間も限られているため、ご意見に基づき委員長と事務局にて案を作成する。

#### (2)導入機能(案)について

- ・資料 4 にて審議会及び町民・職員アンケートのご意見を提示する。11 ページ

目では庁舎機能の案を提示する。(事務局)

- ・次回以降の審議会で本格的に議論をしていくが、本日は議論の導入として現時点の意見を頂きたい。コスト的な制約も有るため、今後は導入機能の優先順位も付ける必要が有る。(佐々木会長)
- ・コスト縮減に関して、例えば太陽光発電は民間に屋根を貸し出すといった、官民連携の手法もある。(藏田委員)
- ・「書かない窓口」や「行かない窓口」の事例もある。(井上委員)
- ・埼玉県庁はペーパーレス化されており紙は 9 割減となっている。(事務局)
- ・庁舎内に医療関係の窓口が必要だと考える。(青木委員)
- ・災害時には消防との連携が重要。(木村委員)
- ・コストの制約も有るが、全て実現できるようにアイデアを出していきたい。(石原委員)
- ・アイデア次第でコストを掛けずに実現する方法もある。(佐々木会長)

#### 4.その他

- (1)見学会を予定している。現時点では桶川市庁舎の見学が決定している。(事務局)
- (2)次回審議会は 5 月 22 日(月)14:30～第 2 庁舎 2 階の第 1・2 会議室で開催する。(事務局)